

展覧会名

山梨ジュエリーのきらめき

会期

2023年3月18日(土) - 2023年6月19日(月)

会場

 山梨ジュエリーミュージアム
 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階(山梨県庁)

入館料

無料

お問い合わせ

山梨ジュエリーミュージアム TEL 055-223-1570

展覧会概要

山梨ジュエリーミュージアムは2023年9月に開館10周年を迎えます。

当館は山梨の地場産業であるジュエリーを、支える人と巧みな技術力とともに広く知っていただける施設として、山梨ジュエリーを取り巻く歴史や取り組みも含めてご紹介しています。

山梨ではかつて県北部の金峰山一帯から上質な水晶が採掘され、江戸時代後期に京都から水晶研磨の技術が伝わったことから水晶研磨技術が発達し、明治中期には貴金属工芸(銙^{かざ}り)と結びついて市場性の高い製品を生み出してきました。ジュエリー産地としてたゆまぬ前進を続け、現代においても日本有数のシェアを誇ります。

集積産地として原材料の調達から加工、流通販売まで様々な業種を抱える山梨の中でも、宝飾加工には特筆すべきものがあります。ジュエリー加工において、貴金属加工・宝石研磨・水晶美術彫刻の各分野は密接に関わり合い、精緻な技術で山梨ジュエリーを作りあげています。

力強くも優美なバリュール、まばゆいティアラ、石からデザインされた一点もののネックレスやリング。すべて山梨県内で制作されたジュエリーの数々です。

逸品を世に送り出し続ける一方、県も産業を取り巻く新しい人材の育成に取り組み、山梨ジュエリーミュージアムも後押しをしています。

今企画展では様々な方向から、現在の《山梨ジュエリー》を展示します。

主な展示作品



1. 「Super Nova (スーパーノヴァ)」

デザイン：瀬川薫

制作：アンプローズアンドカンパニー株式会社



2. 「ブドウのティアラ」

デザイン・制作：森野溪登

(山梨県立宝石美術専門学校2021年度卒業生)



3. 「春風」

デザイン：石川義雄

制作：アトリエタカノ 高野誠

株式会社K'sファクトリー 小沢一欽



4. 「至福の時」

デザイン：内田千奈美

 制作：株式会社近藤宝飾/株式会社KARAT 丹澤昌二
 河野水晶美術 河野道一


5. 「甲州貴石切子 plusthree」

デザイン・制作：ジュエリークラフトフカサワ

深澤陽一



6. 「ティアラ」

デザイン・制作：株式会社コダマ

同時開催

「御嶽昇仙峡国名勝指定 100 周年記念 山梨の水晶と装身具」 (共催：山梨県立考古博物館)

2023 年 4 月 22 日 (土) - 6 月 19 日 (月)

山梨では明治期まで県北部の金峰山一帯から水晶が採掘され、昇仙峡を含む地域と水晶鉱山は密な関係を持ち、水晶研磨の発展に大きく寄与してきました。今展示では昭和 30 年代までの水晶製の装身具を中心に、ジュエリー産地として名を誇る山梨が今日まで受け継ぐ技術と歴史の一端をご紹介します。



体験工房のご案内

山梨ジュエリーミュージアムでは、土、日、祝日にジュエリー制作が体験できるプログラムをご用意しています。ジュエリー産地、山梨で活躍している職人の指導のもと「山梨ジュエリー」のワザを体験できます。

体験に際しましては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。



※こちらに掲載している写真は、新型コロナウイルス感染症発生以前に撮影したものです。

広報用画像

本展覧会をご紹介して頂ける場合に限り、上記掲載の作品画像データを提供いたします。

当館サイトからダウンロードできますので、メールでお問い合わせください。

ダウンロードアドレスをご連絡します。

なお、お問い合わせの際は、下記内容を合わせてお知らせください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 希望する作品画像の番号・タイトル | ④ 所在地・電話 |
| ② 媒体名・掲載 (公開) 予定日 | ⑤ メールアドレス |
| ③ 御社名・ご担当者名 | |

【重要】 プレス画像のご利用にあたって、必ずお読みください。

- ① プレス画像の利用は、当該画像に係る展覧会または当館に関する記事掲載の目的での利用に限ります。
- ② プレス画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報等など所定のクレジットを必ず記載してください。
- ③ 校正の段階で原稿を山梨ジュエリーミュージアム 広報担当宛 (jewelry-museum@pref.yamanashi.lg.jp) にお送りください。
- ④ プレス画像は全図でご使用いただき、トリミングや文字寄せ等は行わないでください。また、画像が無断で第三者に利用されることのないよう、コピーガード、転載不可の明記など、必要な措置を講じてください。
- ⑤ 画像データは使用後速やかに破棄してください。データの保存および第三者への提供はお控えいただくようお願いします。
- ⑥ 取材の内容及び借用画像が収録・掲載されたサイト・番組等は DVD1 枚、印刷物については、現物を 1 部もしくはコピーの場合は 3 部ご寄贈ください。

※媒体掲載にご使用いただける印刷用の高解像度 (300-400dpi) とオンライン用の低解像度 (72dpi) の 2 種類の画質をご用意しております。